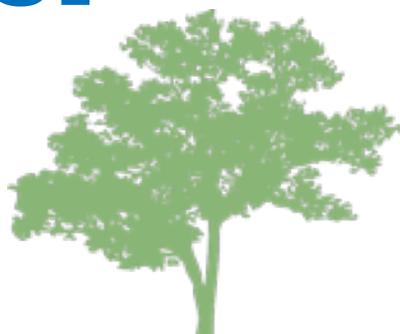


DPS News Letter



主査からのメッセージ 田上 敦士

マルチメディア通信と分散処理研究会（DPS研究会）は、情報ネットワーク、分散処理、ネットワークアプリケーションなどに関する先端的で幅広い領域を対象として、研究発表・議論・情報交換の場を提供しております。昨今、インターネットなどのネットワーク技術がインフラ化するに従い、IoT、AI、BigData、Fintech、自動運転などが注目されており、様々な分野との連携による新技術・新サービスの創出にも期待が高まっています。そのような中であって、幅広い分野の研究者が集う本研究会の役割は益々重要になってくると考えています。

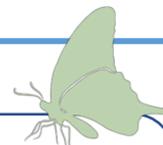
DPS研究会は、年4回の定例研究会、ワークショップ、論文誌特集号などを企画運営しております。研究会は、常的な研究発表の場であるとともに、学会へのエントリポイントとしても活用頂いています。まとまった研究成果のご発表はもちろんのこと、問題提起やポジションペーパーなど、研究の初期段階でのご発表も大歓迎です。特にDPS研究会は広い研究項目を対象としており、合同で開催する研究会も含めて、様々な分野の方々と議論ができる場にできればと考えております。是非、学生さんから大学や企業の研究者まで、気軽な議論の場としてご活用ください。

毎年秋に開催されるマルチメディア通信と分散処理ワークショップ（DPS ワークショップ）は査読付きワークショップで、研究をブラッシュアップするための深い議論や意見交換の場になっています。同時に、研究分野全体の方向性や新しい課題について議論し、共有する場でもあります。参加者全員がすべての研究発表の議論に参加できるよう、合宿形式、シングルトラックで開催しています。2018年はワークショップ委員長に木原民雄先生（昭和女子大学）をお迎えし、11月に佐賀県川上峡温泉で開催しました。今回は、ワークショップ委員長に山口弘純先生（大阪大学）をお迎えし、2019年12月に北海道での開催を計画しています。皆様の奮ってご参加をお待ちしています。研究成果を論文誌論文としてまとめて、発表することは重要です。

DPS研究会では、情報処理学会論文誌においてDPS特集号を企画しています。幅広いテーマの論文を受け入れ、丁寧な査読を心がけています。例年、5月GW前後に論文投稿締切、翌年2月号に特集号発刊というスケジュールです。2018年度は、山室雅司氏（NTTテクノクロス株式会社）を特集号編集委員長にお迎えし、2019年2月に「ネットワークサービスと分散処理」特集号を刊行しました。次のDPS特集号では、安本慶一先生（奈良先端科学技術大学院大学）を特集号編集委員長にお迎えし、2020年2月の発刊を目指しています。他にも、「マルチメディア、分散、協調とモバイルシンポジウム(DICOMO)」の共催、研究会からの論文誌への推薦論文や学会の各種賞などへの推薦、研究会独自の論文賞など選出など、本分野の研究を推進する活動を積極的に展開します。

DPS研究会は研究会運営委員会を中心に会員自身の手によって運営されています。2018年度をもって幹事の斉藤裕樹先生（明治大学）をはじめとして13名の運営委員が退任されます。これまでのご尽力に感謝いたします。また、新幹事の中沢実先生（金沢工業大学）をはじめとして新しい運営委員も就任し、益々発展するために精進したいと考えております。今後とも皆様の協力をお願いいたします。





○ 中沢 実 (金沢工業大学)

新任



2019年度より幹事を務めさせていただくことになりました。金沢工業大学の中沢です。これまで、DICOMO2006のプログラム委員幹事や、DPSワークショップ2016からDPSワークショップ2018にかけて、プログラム正副委員長を務めさせていただいておりました。私とDPS研究会はかなり古くから関係させていただいておられます。特に、私の指導教官がDPS研究会等での活動をしており、博士課程の時も含めて、25年以上は何らかの形でお世話になっており、当研究会に育てられたと思っています。その結果、当研究会を通じて山下記念研究賞を頂いた事もあり、今は学生に対して、最初の研究会の発表の場として、DPS研究会やDPSワークショップを薦める立場になってきています。おかげさまで、DPSワークショップでは、最優秀論文発表賞や優秀デモンストレーション賞を数回に渡り学生に受賞させることができたのは本当に嬉しい限りです。当研究会の良さは、従来のテーマに捉われず、新しい研究テーマを歓迎してくれる点もありますが、それ以上に、研究会発表時の真摯な議論が本当に素晴らしいものだと感じています。近年、デジタルトランスフォーメーションという形で、「ICTの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」などの議論がなされ始めてきている現在の中で、これからも当研究会が少しでも多くみなさまの研究分野の活性化・発展に貢献できるように微力ながらも支援ができればと思っています。

○ 廣森 聡仁 (大阪大学)



2017年度より幹事を務めております。2019年度のDPS研究会も様々な場所での開催が予定されております。例年、5月の研究会は沖縄での開催となっておりますが、2019年は奄美大島での開催となっております。奄美大島は鹿児島と沖縄の間に位置しており、鹿児島出身の私もあまり馴染みのないところで、皆様にも楽しんでいただけるかと思っております。

その後、DICOMO 2019 シンポジウムは福島、9月の研究会は石川、DPSWS2019 は北海道、1月は東北、3月は横浜での開催が予定されております。普段皆様が訪問されていないところも含まれているかと思います。いつもの仕事場から離れ、斬新な発想が生まれることを願っております。皆様のご投稿及びご参加お待ちしております。

○ 鈴木 理基 (KDDI総合研究所)



2016年度より、DPS研究運営委員会幹事を務めており、任期最終年度を迎えます。幹事としては運営委員会を担当しております。年6回の運営委員会を招集し、研究会の計画など運営に関する議事を円滑に進行することをメインに、諸事万端を整える役割を務めております。DPS研究会では、ひとつひとつの研究発表に対して、可能な限り深くディスカッションを行うことでさらなる研究成果につなげられるよう協力しあうと同時に、可能な限り間口を広げ、より多くの方にご参加いただくことを目標としております。一見相反する目標を同時に掲げているように思われるかもしれませんが、研究会での活動を通じて、皆様にご活躍いただける環境を整えることが目標です。そのためにも、若い方々や、これまでDPS研に馴染みのなかった方々にも、積極的に研究会に参加していただき、彼らがリピーターになりやすい環境を整えることで、DPS研の活性化、発展に貢献できるよう努めて参ります。既にご参加いただいている皆様にとっても、これまで以上に積極的にご参加いただける環境づくりに尽力いたしますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

○ 寺西 裕一 (NICT)



2018度から主に広報関係を木原先生から引き継いで担当させていただいています。Facebook、ウェブ、このニュースレターを通じた情報発信を進めていますが、情報が溢れているこの時代、皆様にリーチすることの難しさを感じているところです。今年1月に掛川市で開かれたDPS177に久しぶりにフル参加(合宿形式、いいですね)できたのですが、やはり本研究会は、通信やコンピューティングに精通した研究者の皆さまと深い議論をすることができ、とても良いコミュニティであることを再確認いたしました。幹事としては、みなさまにこのコミュニティを上手く活用いただき、研究の進展や展開、そして研究者同士のコラボレーションによる価値の創出につながるよう、お手伝いができればとの思いを新たにしているところです。今回のニュースレターをご覧くださいればわかります通り、新年度も活動予定が次々と決まってくる予定です。2019年度、新たなメンバーをお迎えして、パワーアップした研究会やワークショップの会場にて、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

○ 野呂 正明 (富士通研究所)



昨年度は研究会などでの現地参加ができず申し訳ありませんでしたが、今年は現地参加するつもりでおりますので、研究だけでなく、研究会や学会の運営についてもいろいろご意見をいただければと思います。また、研究会幹事に加えて、論文誌ネットワーク分野の主査を務めさせていただく予定となっております。

DPS研究会は、ワークショップや合宿研究会など、発表時間外でも人が集まってディスカッションできる機会が多い研究会でもあるため、異なるレイヤの研究者から普段聞くことができないコメントを得られる機会がありますので、皆様の研究に議論の結果を取り入れ、その成果を論文として投稿していただけますよう、お願いします。さらに、研究会や論文誌の委員として全国大会、DICOMO、FITなどのイベントにかかわることもありますので、気軽に現地でお声がけください。

○ 斉藤 裕樹 (明治大学)

退任



2015年度より会計担当幹事として4年間の任期を無事終えることができました。これも皆様のお力添えのおかげだと思います。感謝申し上げます。2015年度は幹事と並行し論文誌DPS特集号の幹事もさせていただきました。編集委員の皆様のご丁寧かつ有意義な査読により60%もの採録率を達成することができ、当研究会の分野横断的かつ奥行きのある活動範囲に改めて思いを受けたことを記憶しています。他の幹事の方も言われているように、当研究会には、広い分野をカバーするともにお互いの研究を認め合いつつ切磋琢磨する、懐が深く前向きに研究を推進できる環境があると思います。変化の激しい分野においてこの価値観を共有できることは、ある意味安心して新しい研究にチャレンジできる貴重な場であると感じています。今後も田上主査、中沢新幹事をはじめ、幹事・会員皆様のご活躍のもとますますの発展を願うとともに、微力ながら今後も研究会活動にご協力させていただければ幸いです。

2018年度 山下記念研究賞

山下記念研究賞は、前年度の研究会およびシンポジウム発表論文のうち、優秀なものを選び、その発表者を、毎年1編ないし2編以内で選定するものです。2018年度は、2017年度の研究会発表から、以下の2名が選出されました。(https://www.ipsj.or.jp/award/yamashita2018.html)

- 石原 進(静岡大学) 「下水管路検査用浮流型無線ネットワークカメラシステムの実現技術」(DPS172)
- 乃村 能成(岡山大学) 「パスワード別送添付メールの問題点と受信側での対策について」(DPS172)

2018年度 論文誌ジャーナル特集号 特選論文

「ネットワークサービスと分散処理」という特集号にふさわしく、ネットワーク自体に関する技術や方針の論文による、ネットワークの高性能化に関わる提案だけでなく、センサにより個人や周辺の状況を把握する認識技術、最適なコンテンツを提示する推薦技術、災害時支援技術といった社会的な課題とその解決法を議論するなど、幅広い論文が掲載されることとなりました。本特集における編集委員会は、「マルチメディア通信と分散処理」研究会の運営委員を中心に末記のとおり構成されました。特集号には、30編の論文が投稿され、4回にわたる編集委員会において慎重な審議を経た上で、19編の論文が採択されました。なお、本特集号では、以下の2編が特選論文に選定されました。詳しくは、https://www.ipsj.or.jp/award/ssp_award.html をご参照ください。

インタフェースロボット応答制御のための歩行者分岐方向の予測

加藤由花(東京女子大学)、池田貴政、岡野 憲、松日崇信人(芝浦工業大学)

PR-SCTPを用いた分割ダウンロード方式における所要時間とブロック到達順序を考慮した要求方式

武田和也、舟阪淳一(広島市立大学)

第26回 マルチメディア通信と分散処理ワークショップ 各賞

最優秀論文賞

Examination and it's evaluation of preprocessing method for individual identification in EEG
Masato Yamashita, Minoru Nakazawa, Yukinobu Nishikawa (KIT)

優秀論文賞

MDL原理を用いた車両挙動データからの特徴抽出手法の提案

横山 達也, 白石 陽 (はこだて未来大)

強化学習を用いたMPEG-DASHにおける映像品質制御手法の実験と評価

生出 真人, 阿部 亨, 菅沼 拓夫 (東北大)

奨励賞

密集無線LAN環境における公平性向上のためのアクセスポイント間協調による信号検出閾値制御の検討

岩井 皓暉, 大沼 貴信, 重野 寛(慶應大), 田中悠介 (Sony)

農業センサデータに基づいたトルコギキョウの個体損失の確率モデリング

本廣 多胤, 花田 裕美, 吉廣 卓哉 (和歌山大)

自転車の障害物回避挙動検出における異常検知に基づく障害物回避区間の抽出手法の検討

武安 裕輔, 白石 陽 (はこだて未来大)

優秀デモンストレーション賞

低コスト・低消費電力での深層学習アプリケーションの実現

村松 沙那恵, 山田 佑二, 江田 毅晴 (NTT)

作物の状態からレシピを生成する自動水耕栽培システム

高田 裕也, 中沢 実 (金沢工大)

優秀ポスター賞

人の行動を利用したモノの位置と属性推定

扇田 幹己, 梶田 宗吾, 山口 弘純, 東野 輝夫 (大阪大)

事前予約制ロードプライシングにおけるキャンセルを考慮した料金決定方法の検討

吉田 茉菜, 川上 朋也, 柴田 直樹, 伊藤 実 (奈良先端大)

スマートフォンを用いた乗客行動に基づく電車内混雑推定法の提案

前田 透, 内山 彰 (阪大), Elhamshary Moustafa (Tanta University), 山口 弘純, 東野 輝夫 (大阪大)

鉄筋コンクリート製下水管内における無線LANの電波伝播特性評価

川合 健斗, 島田 彩加, 武居 悠樹, 石原 進 (静岡大)

複数の屋内測位方式を用いた電動車椅子自動運転システムの提案

高橋 宗資, 佐藤 文明 (東邦大)

最優秀プレゼンテーション賞

電波不感地帯における生態系モニタリング利用に向けたLoRaWANの性能調査とドローン活用

梶田 宗吾(大阪大)

優秀プレゼンテーション賞

密集無線LAN環境における公平性向上のためのアクセスポイント間協調による信号検出閾値制御の検討

岩井 皓暉(慶應大)

過去のNIC負荷とプロセスのデータ送信量を考慮した複数NIC間での負荷分散法

谷口 秀夫(岡山大)

複数層環境における推定応答時間に基づくオフローディングシステムの検討

谷 遼太郎(慶應大)

MDL原理を用いた車両挙動データからの特徴抽出手法の提案

横山 達也(はこだて未来大)

過去の災害対応記録による災害支援エキスパートシステムの構築

石田 智行(福岡工業大)

ベストカンパサント賞

本廣 多胤(和歌山大)



最優秀論文賞受賞の山下さん(中央), 木原WS委員長(左), 中沢PC委員長(右)



マルチメディア通信と分散処理ワークショップは、日本中の温泉地を渡り歩いてきました。2018年度は、これまでに（私が）訪ねたことのない温泉地ということで、佐賀県の川上峡温泉で開催することになりました。ホテル龍登園は、肥前国一宮であるとても素敵な與止日女神社に隣接する伝統を感じさせる会場で、深い雰囲気のある温泉でした。合宿形式で研究者や学生が一箇所に集まって寝食共にし、シングルセッションで全ての発表を全員が聴いて一体感のある深い議論をし、投票で賞を決め、一緒に観光したり温泉に入るという伝統のスタイルは変わっていません。最近では、私たちDPSの関連分野の研究者の活躍が期待される領域は広がり続けています。シングルセッションで発表内容を密に共有するこのワークショップは、専門性の多様化で陥りがちな隘路を飛び出して、俯瞰的視野を養う貴重な機会となります。分野が確立されていない新しいテーマを歓迎するという自由さがこの研究会の特徴です。振り返っても理不尽に批判されたことはないですし、評価基準を新しく考えようという優しさが常にありました。

このワークショップは25年目になるのですが、私を育ててくれたワークショップでもあります。参加者の年齢層が広く、駆け出しが仕事を覚え、実務をこなす、責任者になっていくという流れができていました。私も、初座長はこのワークショップでした。今回、2回目のワークショップ委員長を拝命しました。前は2009年の層雲峡温泉で、9年ぶりの再登板です。本来は他の方に機会を譲ったほうがよかったのかもしれませんが、ちょっと思い残しがあったのでお引き受けしました。今回試したかったのは、もう少し個々の参加者を見える化したいということと、研究内容以外の何かのやりとりを増やしたいということでした。参加者間のコミュニケーションが不足すると、専門性の多様化で、コミュニティのつながりの希薄化をまねきかねません。そこで、組織委員会で議論を重ねてもらい、参加者間の「密なつながり」を促進するために、様々な試みを企画しました。まず、発表会場や食事の時に座席の指定をしてみました。このために、詳しい名札と全員が載った座席表をつくりました。これによって、発言者が誰であるかがわかりやすくなりました。また、夕食では自己紹介タイム（他のひとと同じことを発言してはいけいないエントロピーを高める工夫つき）を復活させました。次に、アウトドアセッションでは、原則全員参加することをお願いしました。近所にある吉野ヶ里遺跡を訪ね、遺跡保存について佐賀県の専門家にアカデミックな解説をしていただきました。全ての参加者を数名のグループにわけ、学生の参加者にグループリーダーになってもらい、グループワークを行い、同日夜に成果発表会を行い、たいへん盛り上がりました。さらに、今回はスポンサーによる協力も得て、将来必要となる人材についての議論も行うことができました。夜の部では、日本中から美味しいお酒がたくさん集まりました。これらの企画を通じて、アカデミアと産業界の間や、研究者世代間の交流を促進し、将来を担う若手研究者の今後の活躍を期待して促すことができたのではないかと思います。

肝心の論文発表についてですが、投稿された全ての論文について、3名ずつの査読者による精査が行われ、19件の優秀な論文が採録され発表が行われました。さらに、デモ発表6件、ポスター発表15件を含む特別セッションを初日に設け、インタラクティブで活発な議論を行うことができ、たいへん有意義なワークショップになりました。

組織委員会のみなさま、プログラム委員会のみなさま、アルバイトの学生スタッフのみなさま、研究会主査幹事のみなさま、お疲れさまでした。いろいろと課題も残りましたが、次のワークショップの組織委員会にかなり人材が残留する（私もアドバイザーを仰せつかりました）ようですので、心配ないと思います。またみなさんとお会いできるのを楽しみにしています。

第26回DPSワークショップ委員長
木原 民雄 (4月から デジタルハリウッド大学)



会場



集合写真



吉野ヶ里遺跡

第27回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS 2019) 参加のお誘い

2019年度は北海道の登別温泉で開催します。登別温泉は温泉のデパートとよばれるほど泉質が豊富（なんと9種類）で、インバウンドも含め全国的に有名な温泉地でありながら、新千歳空港からのアクセスも良好、といった「地の利」を備えた絶好の開催地です。ワークショップ伝統のシングルセッション構成のなかで、私たちがマルチメディア通信や分散処理などの研究を通じて実世界にどう貢献していくべきか議論できる未来志向のワークショップにしていきたいと思っています。学生さんからシニアの皆様まで奮ってご参加ください。登別でお会いしましょう！

第27回 DPSワークショップ委員長
山口弘純 (大阪大学)



鬼祠・念仏鬼像



秋の地獄谷



DPS研究会では、2018年度も、会員の研究発表の場として、合同開催3回、単独開催1回の合計4回の研究発表会を企画いたしました。DPS研究会は、通信や分散処理だけでなく、広い研究項目を対象としており、今年度も、様々な分野の方々と幅広い議論を行うことができました。最近では、機械学習、ブロックチェーン、エッジコンピューティング、自動運転といった新しい分野の研究に関する議論も行われ始めています。2019年度も、ぜひ議論の場としてご利用ください。



第1回 (DPS175)

ITS/MBL/MoNa合同開催 2018年5月24日(木)～25日(金)

例年、5月の研究会は沖縄での開催を企画しており、2018年は、お天気に恵まれた沖縄県島尻郡久米島のイーブ情報プラザにて開催されました。ITS/MBL、および、電子情報通信学会のMoNAとの合同開催でモバイル系の発表が数多く行われ熱い議論が繰り広げられました。



第2回 (DPS176)

EIP合同開催 2018年9月13日(木)～14日(金)

岡山大学の創立五十周年記念館にて、法律や倫理に関する議論が毎度興味深いEIPとの合同で研究会が開催されました。企画セッション「ブロックチェーンの可能性・未来・課題」が行われ、仮想通貨だけでなく、様々な分野への展開がすすめられているブロックチェーンについて、大変興味深い議論が繰り広げられました。



第3回 (DPS177)

DPS単独・合宿形式 2019年1月31日(木)～2月1日(金)

静岡県掛川市のつま恋リゾート彩の郷にて、単独開催の合宿形式での研究会が開催されました。別の研究会と比較し、発表件数は少なめでしたが、それぞれの発表についてじっくりと時間をかけて議論をすることができた研究会となりました。その後の夜の二次会にも参加者全員が参加し、深夜まで活発な議論が行われました。



第4回 (DPS178)

CSEC合同開催 2019年3月4日(月)～3月5日(火)

名古屋大学にて、CSEC研究会との合同での研究会が開催されました。特徴的なトピックとして、IoTに関する取組が多く紹介されました。また、CSEC側では、セキュリティ関連の発表が数多く行われるとともに、企画セッションにおいて、研究倫理のコンセンサスや質の高い研究の進め方に関する活発な議論がなされました。

2019年度活動予定

○ 研究発表会

第1回 (DPS179)

日程：5月23日～24日

場所：奄美市社会福祉センター（鹿児島県奄美市）

合同：MBL/ITS 共催：SeMI（信学会）

申込締切：3月14日(金) 原稿締切：4月10日(木)

第2回 (DPS180)

日程：9月頃

場所：石川県金沢市（予定）

合同：EIP

申込締切：7月頃 原稿締切：8月頃

第3回 (DPS181)

日程：1月

場所：宮城県宮城市（予定）

単独・合宿形式（見込み）

申込締切：11月頃 原稿締切：12月頃

第4回 (DPS182)

日程：3月

場所：神奈川県横浜市（予定）

合同：CSEC

申込締切：1月頃 原稿締切：2月頃



金沢城石川門（金沢）



赤レンガ倉庫（横浜）

○ DICOM02019シンポジウム

日程：7月3日(水)～5日(金)

場所：磐梯熱海温泉 華の湯（福島県郡山市）

論文概要提出締切：3月19日(火)

カメラレディ原稿締切：5月13日(月)

参加者申込締切：6月上旬

○ DPSワークショップ2019

日程：11月11日(月)～13日(火)

場所：登別万世閣（北海道登別市）

論文投稿：7月19日(金)

デモ・ポスター発表申し込み：8月23日(金)

結果通知：9月11日(水)

カメラレディ原稿：9月27日(金)

参加申込締切：10月上旬



第27回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS 2019)

日程：11月11日(月)～13日(火)

場所：登別万世閣（北海道登別市）

主催：情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会
<http://www.dpsws.org/2019/>

スケジュール：

論文投稿締切：7月19日(金)

デモ・ポスター発表申込締切：8月23日(金)

結果通知：9月11日(水)

カメラレディ原稿：9月27日(金)

参加申込締切：10月上旬

情報処理学会マルチメディア通信と分散処理 (DPS) 研究会では、高速通信、分散コンピューティング、マルチメディア情報通信、知的通信、プロトコル、分散協調などの研究分野について、活発な研究発表が行われております。これらの研究について、通常の研究会ではできない深い議論を行うため、1993年より合宿形式のマルチメディア通信と分散処理ワークショップを開催してまいりました。これまで皆様のご協力により、湯布院（1993年）を皮切りとして、最近では、田沢湖（2016年）、温根湯（2017年）、川上峡（2018年）でワークショップを開催してきました。毎回、多くの方の参加をいただき、充実した議論を通じて多くの成果を得ています。2019年度は、北海道の登別温泉にて開催することといたしました。つきましては、研究活動の活性化および新しい研究の方向を探る場として、皆様のワークショップへのご参加と活発で有意義な議論をお願いいたします。

実行委員会：

ワークショップ委員長 山口 弘純（阪大）

組織委員長 吉廣 卓哉（和歌山大）

組織副委員長（財務） 後藤 佑介（岡山大）

組織副委員長（ローカル） 高橋 幸幸（東北大）

組織委員（IT出版） 井ノ口 真樹（NEC）

組織委員（企画） 廣森 聡仁（阪大）

プログラム委員長 川上 朋也（奈良先端大）

プログラム副委員長 石原 進（静岡大）

プログラム副委員長 寺西 裕一（NICT）

プログラム副委員長（デモ・ポスター） 荒川 豊（九大）

アドバイザー 木原 民雄（デジタルハリウッド大）

アドバイザー 田上 敦士（KDDI総合研究所）

論文カテゴリ：

(1) 一般セッション発表（一般論文）

- ・ 学術的な研究論文に限らず、事例報告、問題提起などの論文もぜひご投稿ください。英語論文も歓迎します。
- ・ 本研究会様式（縦長、シングルスペース、2カラム）で、原則6～8ページ程度とします。
- ・ 査読の結果、ショートプレゼンテーションやポスター発表として採録する場合があります。

(2) 特別セッション発表（デモ・ポスター）

- ・ 試作ツールやシステムの紹介、会場での実験、製品紹介等のデモンストラーションを募集します。
- ・ 研究途上にあるテーマの中間報告、問題提起や討論、新分野への取り組みなど、テーマ別のセッションの中では発表しにくい内容や、時間に制限されない発表を希望される方のためにポスター発表を募集します。
- ・ 本研究会様式（縦長、シングルスペース、2カラム）で、1～8ページ程度原稿を予稿集に収録します。
- ・ 優秀な論文には、査読結果に基づいて会期中に表彰を行います。

2020年論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集号

編集委員長：安本慶一（奈良先端科学技術大学院大学）

幹事：後藤佑介（岡山大学）

編集委員：

田上敦士（KDDI総合研究所）、廣森聡仁（大阪大学）、斉藤裕樹（明治大学）、野呂正明（富士通研究所）、鈴木理基（KDDI総合研究所）、寺西裕一（情報通信研究機構）、梶並知記（岡山理科大学）、早川智一（明治大学）、西尾理志（京都大学）、金本英樹（パナソニック）、佐藤永欣（岩手県立大学）、金子雄（東芝）、川上朋也（奈良先端科学技術大学院大学）、塚本良太（三菱電機）、小田切和也（福山女子学園大学）、後藤充裕（NTTサービスエボリューション研究所）、加藤由花（東京女子大学）、佐藤文明（東邦大学）、勝間亮（大阪府立大学）、黒瀬 浩（金沢工業大学）、井ノ口真樹（日本電気）、中嶋卓雄（東海大学）、赤木文彦（富士通研究所）、滝沢泰久（関西大学）、林原尚浩（京都産業大学）、杉本章義（北海道大学）、柳澤秀明（徳山工業高等専門学校）、小田哲也（岡山理科大学）、金井 敦（法政大学）、中村素典（国立情報学研究所）、白石 陽（公立ほこだて未来大学）、田中俊介（NTTデータ）、乃村能成（岡山大学）、星 尚志（KDDI総合研究所）、原 英樹（千葉工業大学）、石原 進（静岡大学）、山口真悟（山口大学）、安部麻里（日本アイ・ピー・エム）、佐野博之（NTTドコモ）、中挟晃介（鉄道総合技術研究所）、木下雅文（日立製作所）、藤本まなと（奈良先端科学技術大学院大学）、内林俊洋（東北大学）、安藤玲未（日本電気）、菊池浩明（明治大学）、重野 寛（慶應義塾大学）、木原民雄（デジタルハリウッド大学）、大西健夫（日本電気）、重安哲也（県立広島大学）、吉廣卓哉（和歌山大学）、横山和俊（高知工科大学）、中沢 実（金沢工業大学）、串田高幸（日本アイ・ピー・エム）、藤田 茂（千葉工業大学）、安達直世（関西大学）、山際基（山梨大学）

論文募集の詳細はこちら

→ <https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-K.html>

投稿締切：2019年4月26日（金）

掲載予定：2020年2月号

対象分野：ネットワークサービス基盤、クラウドコンピューティング、オーバーレイネットワーク、P2P、SDN、NFV、セキュリティアーキテクチャ、センサネットワーク、遅延耐性ネットワーク、ネットワーク構造解析、Web・Blog通信の解析、ネットワーク計測、Webサービス、ユビキタスネットワーク、ネットワークアーキテクチャ/プロトコル、移動通信アーキテクチャ、経路制御、分散コンピューティング/アルゴリズム/オブジェクト/エージェント/データベース、シームレスコミュニケーション、シームレスコンピューティング、マルチメディア、分散処理に関連した領域全般、高速広帯域通信/品質制御/セキュリティ、アクセス/モバイル/アドホックネットワーク、情報システム、情報検索、機械学習、データマイニング、マルチメディア通信/処理/システム/アプリケーション、オンラインゲーム、グリッドコンピューティング、クラスタ、固定・移動端末連携、通信・放送融合、3次元仮想空間、ソーシャルコンピューティング等

2019年度マルチメディア通信と分散処理 (DPS) 研究運営委員会

主 査：田上 敦士（株式会社KDDI総合研究所）

幹 事：野呂 正明（富士通研究所）、鈴木 理基（株式会社KDDI総合研究所）、廣森 聡仁（大阪大学）、寺西 裕一（情報通信研究機構）、中沢実（金沢工業大学）

運営委員：井ノ口 真樹（日本電気）、中嶋 卓雄（東海大学）、赤木 文彦（富士通）、滝沢 泰久（関西大学）、林原 尚浩（京都産業大学）、杉本章義（北海道大学）、柳澤 秀明（徳山工業高等専門学校）、小田 哲也（岡山理科大学）、金井 敦（法政大学）、後藤 佑介（岡山大学）、中村 素典（国立情報学研究所）、白石 陽（ほこだて未来大学）、田中 俊介（NTTデータ）、乃村 能成（岡山大学）、星 尚志（KDDI総合研究所）、原 英樹（千葉工業大学）、石原 進（静岡大学工学部）、山口 真悟（山口大学大学院創成科学研究科）、安部 麻里（日本アイ・ピー・エム）、佐野 博之（NTTドコモ）、中挟 晃介（鉄道総合技術研究所）、木下 雅文（日立製作所）、藤本 まなと（奈良先端科学技術大学院大学）、内林 俊洋（東北大学）、安藤 玲未（日本電気）、樋口 拓己（パナソニック（株）コネクティッドソリューションズ社）、今井 信太郎（岩手県立大学）、平山 秀昭（目白大学）、森 郁海（三菱電機）、藤野 知之（NTT未来ねっと研究所）、伊藤 俊夫（東芝）、木原 民雄（デジタルハリウッド大学）

DPS News Letter Vol.8, No.1

発行：一般社団法人情報処理学会
マルチメディア通信と分散処理 (DPS) 研究会

発行日：2019年3月10日

お問い合わせ

研究会全般について：一般社団法人情報処理学会研究会担当

(sig@ipsj.or.jp)

DPS News Letter について：teranisi@nict.go.jp

研究会Facebook ページ：https://www.facebook.com/ipsjdps/

研究会ウェブページ：http://www.ipsjdps.org/

